

一般質問発言通告書

発言順位 10 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年 2月18日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 21番 岡田 美喜子



質問事項 1	デジタルファースト実現に向けた取り組みについて
具体的内容	国において、令和元年5月に行政手続きを原則、電子申請に統一するデジタルファースト法が成立しました。引越しや相続、法人設立などの手続きがインターネット上でできるようになります。少子高齢化により人口が減少し、生産年齢人口も減少傾向にある中、インターネットにより手続きや各種申請が簡素化されることは、市民の利便性が向上するほか、効率的に業務運営が行われる利点があります。
	三島市においても、便利で質の高い行政サービスと業務の効率化が図られるものと、以下の点について伺います。
	1. デジタルファースト実現に向けた具体的な取り組みについて
	2. 電子申請・届出サービスの運用状況と今後の目標について
	3. 情報発信力の向上について
	4. インターネットに触れる機会の少ない市民や高齢者への対応について
	5. セキュリティ対策について
質問事項 2	健康と福祉のまちづくりについて
具体的内容	「三島市子ども子育て支援事業計画」が最終年度を迎え、令和2年度からの第2期計画が策定されていることと思います。人口減少・超高齢社会を迎え、三島市が将来に向かって持続的な発展を遂げるために、若い世代に選ばれ、子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる社会の実現は重要な課題といえます。
	また、高齢者が最期まで住み慣れた地域で、生きがいをもって元気に暮らしていくための取り組みも重要です。健康と福祉のまち実現のために以下の点について伺います。
	1. 子どもを産み育てやすい環境の整備について
	(1) 母子健康手帳の交付の現状と課題について
	(2) 結婚から妊娠、出産、育児、教育の切れ目のない家庭の支援体制について
	2. 高齢者の自立の支援について
	(1) 栄養・運動・社会参加の課題について
	(2) フレイル予防の具体的な取り組みについて
質問事項 3	下土狩文教線の安全対策について
具体的内容	令和元年度の市民意識調査では、三島駅周辺整備・歩道の整備・生活道路の整備共に満足度は年々減少し、不満率は約40%となっています。市民の方からは、西間門新谷線、谷田幸原線、下土狩文教線等の主要幹線道路の整備が、一向に進まないご指摘をいただいています。
	下土狩文教線については、三島駅北口広場の渋滞緩和対策もあり、周辺道路の交通規制変更があるため、地元説明会を開催していただきました。しかし、市民の方からは、未だに安全対策への不安の声があります。
	下土狩文教線の工事状況と、地元説明会で出された課題と安全対策を伺います。
	1. 工事内容と進捗状況、今後のスケジュールについて
	2. 市民説明会で出された要望と問題点に対する対策について
	3. 歩行者の安全対策について